

インフォシス、IDC MarketScape 社「世界のマネージドマルチクラウドサービスに関する 2021 年ベンダー評価」でリーダーを獲得

バンガロール（インド） – 2021 年 12 月 21 日： 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY) は本日、IDC MarketScape 社の「世界のマネージドマルチクラウドサービスに関する 2021 年ベンダー評価（文書 #US45977020, 2021 年 10 月）」でリーダーに選ばれたことを明らかにしました。同レポートでは、インフォシスが [Infosys Cobalt](#) として提供するマネージドクラウドサービスの包括的アプローチや、クラウドのワークロードを効率的に運用する力、クラウドによるシームレスな企業変革サービスが高い評価を受けました。

このレポートは、IDC MarketScape 社がマネージドマルチクラウドサービスプロバイダ 14 社をサービス対象やライフサイクル、ポートフォリオ、収益、提携ネットワークに基づいて評価したものです。リーダーに選ばれたインフォシスは、技術力と業界専門知識のほか、資産やツール、ソリューション、プラットフォーム、アクセラレータといった Infosys Cobalt に欠かせない幅広いレポジトリを持っている点が高く評価されました。また、インフォシスの従業員や顧客、クラウドパートナー、スタートアップ企業を含む Cobalt Community や拡大する技術エコシステム、グローバル顧客の製品化までの時間短縮に役立つイノベーションハブも取り上げられました。IDC MarketScape はさらに、インフォシスの [クラウドマネージドサービス](#) が顧客のクラウド上の IT エコシステムの回復力と俊敏性の向上に役立っている点も高く評価しました。

インフォシスの強みとして評価された点は以下の通りです。

- マネージドマルチクラウドサービスを用いたアプリケーションのクラウドへの移行と近代化において強みを発揮した点
- パブリッククラウド（IaaS、PaaS、SaaS にまたがる）のブロックチェーンへのマネージドマルチクラウドサービスの使用やそれらのサービスを支えるセンター・オブ・エクセレンス（COE）/ラボ（物理拠点）の総数で市場平均が市場を上回った点
- 業務面でインフォシスがアプリケーション（ERP、SCM、CRM 等）に起因する世界的なマネージドマルチクラウドサービス事業とマルチクラウド環境を使ったアプリケーション開発/導入のシェア、並びに自社の販売リソースに起因するマネージドマルチクラウドサービス業務のシェアで市場標準を上回った点
- 顧客維持率で業界基準を上回り、コスト削減効果の点で顧客から高い評価を獲得した点

IDC のアウトソーシングおよびマネージドクラウドサービス部門のプログラム・バイスプレジデントである David

Tapper 氏 は「インフォシスは幅広いマネージドマルチクラウドサービスのリソースを携えており、顧客のクラウド戦略を支え、企業が非常に動的な市場の要求や高まるニーズに応じて確かな回復力を備えられるよう支える体制が整っています。」としたうえで、「企業のマルチクラウド要件を支えるなか、インフォシスが SLA を順守し、コスト効率の高いソリューションを提供

し、パブリッククラウドプロバイダへのアクセスを実現し、業務と技術の専門知識を提供することが可能である点が顧客から指摘されました。」と述べました。

インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデントで、クラウド・インフラソリューション部長である Narsimha Rao Mannepalli は次のように述べています。「IDC MarketScape 社の 2021 年世界のマネージドマルチクラウドサービスでリーダーの評価をいただけたことを嬉しく思います。これは、この分野における弊社の高い能力と顧客中心アプローチへの専心が認められたことを意味します。弊社は Cobalt のポートフォリオ、豊富な文脈的知識、豊かなパートナーエコシステム、あらゆる業界の専門知識を活用して、引き続きスピード感を持って、大規模かつ俊敏に事業を成長させることができるようお客様を支えてまいります。」

このレポートはこちらのリンクから閲覧が可能です。: <https://www.infosys.com/services/cloud-cobalt/analyst-reports/leader-worldwide-managed-multicloud-services2021.html>

IDC MarketScape のベンダー評価モデルは、特定市場における ICT（情報通信技術）サプライヤーの競争適応度について概要を把握できるよう設計されています。調査手法には、定量的および定性的基準に基づいた厳格な採点手法を用いており、結果として、当該市場における各ベンダーの位置付けが一つのグラフィックスにより図示されます。IDC MarketScape は、ICT ベンダーの製品とサービス、能力と戦略、現在および将来の市場における成功要因を有意義に比較できる明確なフレームワークを提供します。また、このフレームワークは、現行ベンダーおよびベンダー候補の強みや弱点に関する 360 度の評価を IT サービスを利用する顧客に提供しています。

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーとして、世界 50 개국以上でお客様のデジタル変革を実現しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステム・業務管理の実績に基づき、専門家としてお客様のデジタル・ジャーニーを推進します。変革の優先順位の判断において、当社では企業が AI を導入したコアを利用できるようにしています。また、ビジネスにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入することで、かつてない高いレベルのパフォーマンスと顧客満足度を提供いたします。当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの確立と移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、www.infosys.com をご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらの記述は、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の



対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドでの人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2020 年会計年度（2021 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問合せ先

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com